

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 1 日現在

機関番号：25403

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2012～2015

課題番号：24401041

研究課題名(和文) グローバル化するアフリカにおける&lt;老いの力&gt;の生成と変容 宗教儀礼領域からの接近

研究課題名(英文) Transformation of the Power of the Elderhood in East Africa

## 研究代表者

田川 玄 (Tagawa, Gen)

広島市立大学・国際学部・准教授

研究者番号：70364106

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,200,000円

研究成果の概要(和文)：アフリカにおいて老人の権威は、政治経済領域だけでなく宗教儀礼領域を含んだ「力」として人びとに経験される。本研究は、こうした老人の「力」を<老いの力>と呼び、東アフリカ地域を対象としたフィールドワークによる民族誌的な比較の手法を用いて、グローバル化といった社会変化にともなう<老いの力>の生成と変容のプロセスを解明することを目的とした。本研究は、東アフリカ地域において、民族誌的に<老いの力>がどのように形成されているのかを示したうえで、近年の国家政治やグローバル経済と結びつき、老いの制度と力が変容していることを明らかにした。

研究成果の概要(英文)：In East Africa, the authority of the elderhood has been not only based on the political and economical, but also on the religious and ritual power. However, in these days the globalization has transformed the power of the elderhood in local communities. This study focuses on how the elderhood has been established and transformed in East Africa by focusing on the religious and ritual spheres, based on field research in Ethiopia, Kenya, Uganda and Comoro Islands.

研究分野：文化人類学

キーワード：アフリカ 老人 &lt;老いの力&gt; グローバル化 宗教儀礼領域 東アフリカ 社会変化

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 将来的には、アフリカにおいても高齢化が予測されており、現代アフリカの老人研究が必要とされているが、これまでのアフリカの老人研究では、近代産業社会の高齢者研究をもとに、公的領域から離脱した非生産的で社会的な弱者である高齢者のみに焦点を当てる傾向にある。しかし、アフリカで起きている老人をめぐる事象を理解するためには、政治経済的な要因だけでなく、先行研究が扱うことのなかった宗教儀礼領域における人びとの経験世界を合わせて考えなければならない。

(2) 東アフリカの諸社会では、老人の権威としての「老いの力」は、家畜や土地の所有、女性の支配などの政治経済的な権力だけではなく、呪詛と祝福などの宗教的实践、慣習法や儀礼方法などの知識として人びとに経験される。つまり、東アフリカにおける「老いの力」とは、下位世代に対する経済的政治的だけでなく、宗教的儀礼的あるいは呪詛的・霊的な優位さでもある。人びとはそれに対して尊敬と畏怖というふたつの態度をもつ。「老いの力」は両義的な性質をもつのである。本研究は、こうした「老いの力」に焦点を当てる。

## 2. 研究の目的

グローバル化の進行するアフリカにおいて、「老いの力」は様々な形で変容している。こうした変容は社会関係の中でも特に世代関係に現れる。新自由主義経済や「政治の自由化」をともなうグローバル化は、ローカルな老人と若者の世代関係を再編成し、宗教儀礼領域において新しい経験の回路を開いていると思われる。それにより、それまで社会秩序を生成していた「老いの力」が、突如として否定的にも肯定的にも経験されることになる。本研究では、このように複雑に展開するグローバル化のなかで、21世紀のアフリカの「老いの力」が再編成されるプロセスを民族誌的に明らかにすることを目的とする。

## 3. 研究の方法

本研究は、フィールドワークにもとづき、宗教儀礼領域から「老いの力」がどのように生成・変容しているのかを民族誌的に明らかにする。具体的な調査対象社会と宗教儀礼領域は次の通りである。エチオピアとケニアにまたがるボラナ社会（研究代表者：田川）、ケニア海岸部中部・西部のギリアマ社会（研究分担者：慶田）、ケニア海岸部南部ドゥルマ社会（研究分担者：浜本）、インド洋のコモロ諸島とフランス・マルセイユにあるコロモ移民コミュニティ（研究分担者：花淵）、ケニアとウガンダのルオ系社会（研究分担

者：椎野）。研究代表者と分担者は十年以上にわたり該当地域においてフィールドワークを継続してきており、現地の社会変化について多くの知識をもつ。特に老人の研究においては、特定の人びとのライフコースについての知識をもつことは、本研究の遂行にとって有益である。

## 4. 研究成果

(1) 多くのアフリカ社会では、数年にいちど行われる成人儀礼（イニシエーション）に参加した少年たちは互いを同年輩者として認識するようになり、自分たちよりも前に成人儀礼を受けたものたちは年長者、自分たちよりも後に受けたものたちは年少者となる。アフリカ社会においては、個人の属性としての年齢よりも、年長・同年輩・年少といった相対的な関係が重要である。また、人生のプロセスは、世代関係として捉えられる。多くのアフリカ社会では結婚し子どもをもつことによってようやく一人前となる。さらに、孫をもつようになれば尊敬される老人となる。さらに、年長であるということは、多くの人びとと結びつくということの意味する。結びつきは系譜的な関係であるほかに、特定の社会をこえたネットワークともなる。このため、ときとして老人は隣接社会との紛争調停において重要な役割を果たす。つまり、老いることは、社会的に時間的な深度と空間的な広がりをもつことである。したがって、老いることは、すべて否定的に捉えられることはなく、むしろ社会的な知識や能力、権威の獲得と結びつき、また、人生において達成しなくてはならない社会的な地位である。

(2) 本研究では、このように老いることによって獲得され、老人であるからこそ社会に及ぼすことのできる何がしかの力を「老いの力」と呼ぶことにする。アフリカにおける「老いの力」の源泉の一つは、老人の政治的地位や経済的優位を作り上げる制度にある。社会によっては、長老階梯という年齢のステージや親族集団における年長者という地位には政治的・経済的な特権が与えられる。また、「老いの力」のもう一つの源泉は、老人の宗教儀礼的な知識と力に由来している。老人は、祖先にもっとも近い位置にあり、親族集団の祖先祭祀や慣習に通じていることから、年少者に対して優位にある。また、老人は祝福と呪詛といった神秘的な力をもつとされることも多い。祝福とは特定の人物や社会全体がよりよい状態となることを祈願する行為であり、呪詛とはその反対によくはない状態となることを願う行為である。ただし、アフリカにおいて老人を敬うことは、所与の傾向性であるため、「老いの力」を、人びとが老人を敬う単なる動機づけとして捉えるべきではなく、「老いの力」とどのように関係して維持されているのか、あるいは変化するのかを

検討をする必要がある。このような検討を加えることによって、近代社会において与えられる老いの否定性を相対化し、老いることの可能性を広げ、また、人間の普遍的な現象である老いがどのように作り出され意味づけられてきたのか、人間社会の本質を考える材料となる。

(3) 老人や高齢者のどの「相貌」を捉えるのかによって当該社会にとって老いの問題が異なってくる。慶田の調査したケニア海岸部のギリアマ社会では、呪詛や妖術によって周囲の人びとをマイナスの状態に陥れる負の「老いの力」が現れる一方で、それが「孫と祖父母」に代表される冗談関係の笑いによって、老いの正の側面へと復することが示される。

(4) 浜本と慶田の調査したケニアの海岸部ミジケンダ系社会では、かつて老人は子どもに対して社会的に正当な呪詛の力を保持していた。その呪詛の力をもつとされてきた老人が、近年では反社会的な妖術師として疑いをかけられ、ときとして殺害される事件も発生していた。こうした老人像の変化は、グローバル化した政治経済的な変動という背景のなかで解釈することが可能である。

(5) 老人になることとは、単に年をとることだけではなく世代関係のなかで地位が上昇するということである。東アフリカ地域には年齢体系という社会制度をもつ社会が多く存在しているが、それらは個人の老いを規定するだけでなく、世代関係を作り出す。田川の調査した南部エチオピアの牧畜民ボラナの年齢制度では、男性すべてが老人階梯を終えることが新たな世代を生成すること、祝福の「老いの力」が社会を再生産することに結びついていることが示される。

(6) これまで、年齢体系の研究が明らかにしてきたことは、「老いる」ことは誰しもが辿るプロセスであるが、一方で「老人」の地位は能動的に獲得しなくてはならないということである。このため、年齢体系は誰しも老いるという平等性と、個々の能力によって達成される地位という競争性のふたつの極を揺れ動く。さらにグローバル化による社会や経済の構造的変化がその揺れ動きに大きな影響をもたらしつつある。花淵の調査したコモロ諸島のンガジヤ島では、男性は年齢階梯制度のなかで威信ある老人の地位に上昇することを目指す。さらにこの事例で興味深いことは、ローカルな年齢階梯制度における儀礼が、フランスへの出稼ぎというグローバルな経済行為と結びつき、老いの威信の競争が激化していることである。それによって、「老いの力」の獲得は難しくなっているが、それは逆に、威

信ある老いへの欲求が高まっていることを意味する。

(7) 老いることは年齢体系という制度によって形作られるだけではなく、親族関係のなかで多くの子孫を生み出し父系親族集団における地位の上昇である。椎野は、調査したケニアの一夫多妻制社会のルオにおいて、両極となるふたりの人物に焦点を当て、豊饒性とセクシュアリティを含む男女の老いの多様性について明らかにした。

(8) 上述した主な調査結果は、田川玄、慶田勝彦、花淵馨也編『アフリカの老人 老いの制度と力の民族誌』（九州大学出版会、2016年）にまとめた。

#### 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計 7 件)

浜本満「致死性の物語とフィールドワークの知 ある青年の死をめくって」『文化人類学』80 - 6、査読有、2015年、341-362頁。

慶田勝彦「エヴァンズ=プリチャードの遺産と隠された半分の真実 アザンデにおけるベンゲ型言説と司法的手続き」『文化人類学』80 - 2、査読有、2015年、181-199頁。

田川玄「アフリカから「老いの力」を学ぶにあたって」『JANES ニュースレター』22、査読なし、2015年、4-8頁。

慶田勝彦「ケニア海岸地方ミジケンダ社会における「長老力」の両義性」『JANES ニュースレター』22、査読なし、2015年、13-18頁。

花淵馨也「村の王と大人になれない者たち コモロ諸島のンガジヤ島における年齢と階梯制」『JANES ニュースレター』22、査読なし、2015年、19-22頁。

椎野若菜「ケニアのカリスマ老人アケクとその周辺 彼の生きた時代とこれから」『JANES ニュースレター』22、査読なし、2015年、11-13頁。

田川玄「福因と災因 ボラナ・オロモの宗教概念と実践」『せめぎあう宗教と国家エチオピア 神々の相克と共生』石原美奈子編、風響社、査読なし、2014年、199-238頁。

〔学会発表〕(計 10 件)

TAGAWA, Gen, "Women's Sexuality in the Patriarchy of the Borana-Oromo," 19<sup>th</sup> International Conference of Ethiopian Studies, 2015年8月26日, University of Warsaw, Warsaw Poland.

浜本満「転送される物語：ある青年の死をめくって」日本文化人類学会第49回研

究大会(招待講演) 2015年5月31日、大阪国際センター、大阪市。

田川玄「アフリカから<老いの力>を学ぶにあたって」第23回日本ナイル・エチオピア学会学術大会公開シンポジウム「アフリカから<老いの力>を学ぶ 老年文化の多様性」2014年4月19日、広島市まちづくり市民交流プラザ。

慶田勝彦「ケニア海岸地方ミジケンダ社会における<長老力>の両義性」第23回日本ナイル・エチオピア学会学術大会公開シンポジウム「アフリカから<老いの力>を学ぶ 老年文化の多様性」2014年4月19日、広島市まちづくり市民交流プラザ。

花淵馨也「村の王と大人になれない者たち コモロ諸島ンガジジャ島における年齢と階梯制」第23回日本ナイル・エチオピア学会学術大会公開シンポジウム「アフリカから<老いの力>を学ぶ 老年文化の多様性」2014年4月19日、広島市まちづくり市民交流プラザ。

椎野若菜「ケニアのカリスマ老人アックとその周辺」第23回日本ナイル・エチオピア学会学術大会公開シンポジウム「アフリカから<老いの力>を学ぶ 老年文化の多様性」2014年4月19日、広島市まちづくり市民交流プラザ。

TAGAWA, Gen “Ritual Elderhood in the Age System of the Borana of Southern Ethiopia,” The International Workshop on Aging in Africa and Asia: Perspective and Prospective from Public Health and Ethnography, 2014年3月6日, Shimba Hill Lodge Hotel, Kwale Kenya.

花淵馨也「ンガジジャ島の年齢階梯制」日本島嶼学会 2013年次高知・柏島大会、2013年9月8日、大月町農村環境改善センター。

KEIDA, Katsuhiko “Waiting for ‘Beba’: Trust Talk and Alienation Talk about Super Witch-catchers in the Kenyan Coast” 17th World Congress of the International Union of Anthropological and Ethnological Sciences, 2013年8月6日, University of Manchester, UK.

SHIINO, Wakana, “‘Single’ People’s Life and Strategy in Kenya and Japan,” 17th World Congress of the International Union of Anthropological and Ethnological Sciences, 2013年8月9日, University of Manchester, UK.

〔図書〕(計 7 件)

『アフリカの老人 - 老いの制度と力の民族誌』(田川玄、慶田勝彦、花淵馨也、阿部年晴、深澤秀夫、椎野若菜、中村香子、

増田研、亀井哲也、野口真理子)2016年、九州大学出版会、246(執筆担当 1-14, 33-68, 95-122, 159-186, 187-209, 237-239頁)。

*Re-Finding African Local Assets and City Environment: Governance, Research and Reflexivity*, SHIINO, Wakana ほか 14名, 2016年, Research Institute for Language and Cultures of Asia and Africa, 289頁(執筆担当 xiii-xvii, 255-286頁)。

『信念の呪縛 ケニア海岸地方ドゥルマ社会における妖術の民族誌』浜本満、2014年、九州大学出版会、534頁。

『シングルをつなぐ縁』(シングルの人類学 2) 椎野若菜、花淵馨也、田中雅一ほか 11名、2014年、人文書院、280頁(執筆担当 5-18, 179-202, 275-288, 289-292頁)。

『境界を生きるシングルたち』(シングルの人類学 1) 椎野若菜、宇田川妙子、高橋絵里香、田中雅一、花淵馨也、小馬徹ほか 7名、2014年、人文書院、282頁(執筆担当 5-19, 227-352, 275-277頁)。

『マダガスカルを知るための62章』飯田卓、深澤秀夫、森山工、花淵馨也ほか 19名、2013年、明石書店、368頁(執筆担当 214-217頁)。

『ケニアを知るための55章』松田素二、津田みわ、慶田勝彦、椎野若菜ほか 34名、2012年、明石書店、376頁(執筆担当 52-57, 175-181, 272-277, 145-147頁)。

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
取得年月日:  
国内外の別:

〔その他〕

巡回写真展「広島でアフリカの<老いの力>を見る」2014年3月18日(火)~3月30日(日): 広島市留学生会館交流ラウンジ、3月31日(月)~4月10日(木): 広島市立大学語学センターラウンジ、4月17日

(木)～4月20日(日): 広島市まちづくり市民交流プラザ南棟 1階展示コーナー  
(アフリック・アフリカ等との共催)

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

田川 玄 (TAGAWA, Gen)

広島市立大学・国際学部・准教授

研究者番号: 70364106

### (2) 研究分担者

慶田勝彦 (KEIDA, Katsuhiko)

熊本大学・文学部・教授

研究者番号: 10195620

花淵馨也 (HANABUCHI, Keiya)

北海道医療大学・看護福祉学部・教授

研究者番号: 50323910

椎野若菜 (SHIINO, Wakana)

東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化

研究所・准教授

研究者番号: 20431968

浜本 満 (HAMAMOTO, Mitsuru)

九州大学・人間・環境学研究科(研究院)

研究者番号: 40156419